



令和7年度 帯広市立清川小学校 学校便り

清川

清川小
HP
↓



学校教育目標 『考える子(知) 豊かな子(徳) 強い子(体)』

キャッチフレーズ 『笑顔あふれ 心あったか 清川っ子』

重点(目指す子どもの姿)

【あいさついっぱい】
【チャレンジいっぱい】

【えがおいっぱい】
【おもいやりいっぱい】

開校60周年テーマ

『未来へバトンをつなごう～清川っ子60年の物語～』

令和7年10月14日発行 No.12 (文責 新津 貴裕)

『子どもたちが笑顔で自分らしさを発揮し、生き生きと活躍できる学校』

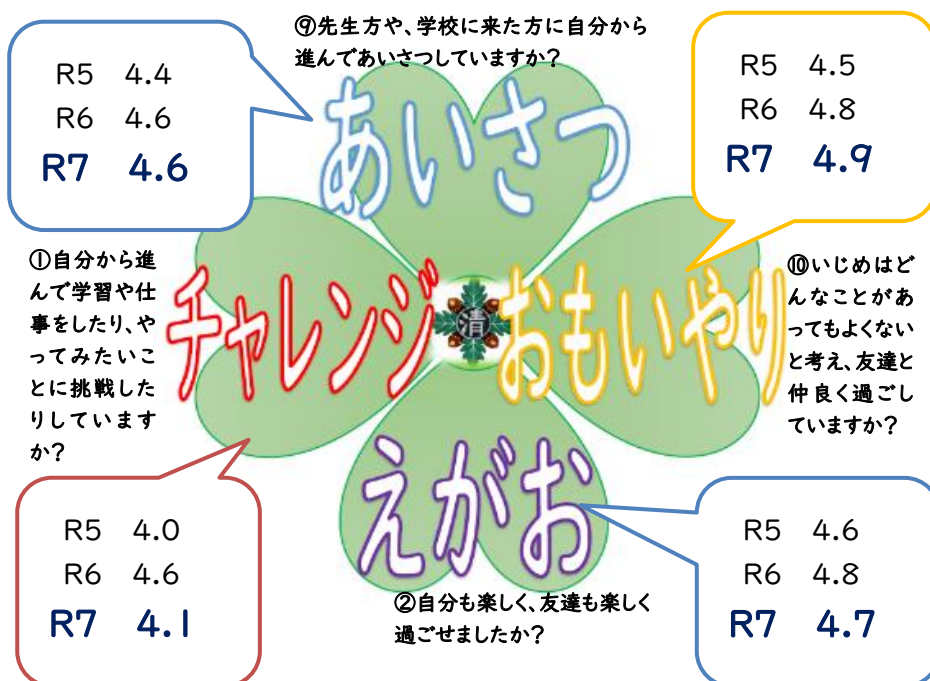
学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

保護者の皆様におかれましては、毎年この時期に実施する学校評価アンケートの回答へのご協力をいただきましたことにお礼申し上げます。ありがとうございました。昨年度も記載しましたが、学校評価については、法令で実施することが定められており、学校の目標や計画の達成についての教職員による評価のほかに、児童や保護者の皆様にアンケートを実施し、その結果に基づいてより良い学校づくりを進めていくことが大きなねらいです。また、学校には自らの取組を評価(自己評価)し、保護者や地域にその情報を公開することも求められています。

学校評価アンケート結果を真摯に受け止め、よりよい清川小学校の実現につなげていきたいと考えております。清川小学校の子どもたちが健やかに成長するためにも、これからも学校・家庭・地域の連携・協働による学校づくりへご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。なお、結果の詳細については、11月の全校参観日での全体懇談会の中で報告させていただきます。今後も、学校教育に対してのご要望やご相談等あれば、遠慮無くご連絡いただければと思います。

検 証

(1)児童アンケート『目指す子ども像』 経年変化より

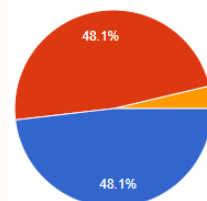


(2)保護者アンケート

『重点教育目標』について

①学校は、子どもたちが笑顔で自分らしさを発揮し、いきいきと活躍できる環境づくりや指導に努めているか?

4.4
(昨年4.6)



『目指す子ども像』について

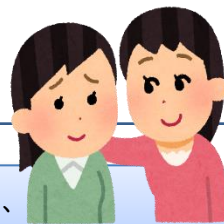
	R5	R6	R7
挨拶	4.1	4.1	4.3
チャレンジ	4.1	4.1	4.4
えがお	4.5	4.4	4.5
思いやり	4.5	4.5	4.1

子どもでは『チャレンジ』、保護者の皆様は『思いやり』で評価が下がっています。この部分は、学校の課題として、早急に改善できるよう努めていきたいと思っています。

思いやりの心を育てるために ～学校と家庭ができること～

学校評価アンケート結果を受け、さっそくですが『思いやり』について考えていきたいと思います。

子どもたちが健やかに成長していくためには、みなさんご存じの通り、知識や技能の習得だけでなく、「思いやりの心」を育むことも大切です。人の気持ちを想像し、相手を大切にできる態度は、豊かな人間関係を築く土台となります。学校と家庭が協力しながら、子どもたちの心の成長を支えていきたいと思います。



(1)学校でできること(今も、そしてこれからも意識した指導を行います)

①あいさつや感謝の言葉を大切にする

日々の学校生活の中で、これまで以上に教職員が率先して明るいあいさつを行い、子どもたちにも「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉を丁寧に使うよう働きかけています。

②学級活動や道徳の時間を通して、相手の立場を考える機会をつくる

友達との関わり方を振り返ったり、困っている人にどのように声をかければよいかを話し合ったりすることで、相手の気持ちに気づく力を育てていきます。

③トラブルが起きたときは対話を重視する

自分たちはどうしたいのかという子どもの思いを大切に、それぞれの気持ちに耳を傾けながら解決を図ることで、子どもたちは思いやりの大切さを学んでいきます。

(2)家庭でできること(参考にいただければと思います)

子どもにとって、家庭は最も安心できる場所であり、心を育てる土台です。思いやりの心も、日々の家庭での関わりの中から育まれていきます。

①家庭内で思いやりのある言葉を交わす

親子の会話の中で、「今日はどんなことがあった?」「困っている友達はいなかった?」など、子どもが他者の気持ちを考えるきっかけになる問いかけをしてみてください。

②子どもの話にしっかり耳を傾ける

学校での出来事や友達との関わりについて、子どもが話しやすい雰囲気をつくることも大切です。うまくいったことも、悩んでいることも、まずは「そうだったんだね」と受け止めてあげましょう。話を聞いてもらえる経験が、他者にも優しく接する力を育てます。

③小さな親切や思いやりを見逃さず、言葉にして伝える

弟や妹にやさしくした、友達のために何かした、そんな行動を見かけたら、「今の〇〇、とても素敵だったね」と声に出して伝えましょう。子どもは認められることで、自分の行動に自信を持ち、思いやりを「続けたい」と思えるようになります。

子どもたちの思いやりの心は、日々の小さな積み重ねの中で少しずつ育っていきます。これからも学校と家庭が手を取り合い、清川っ子の温かい心を育む環境をつくっていただければと思います。

後期児童会・専門委員会始動 ～やりたいことにどんどんチャレンジ～

会 長	■さん	図書委員長	■さん	3,4年学級委員長	■さん
副会長	■さん	健康委員長	■さん	5,6年学級委員長	■さん
書 記	■さん				
書 記	■さん				

みんなの力でもっともっと
『笑顔あふれ 心あったか 清川っ子』に

